

横田基地日米友好祭への陸上自衛隊陸上総隊第1空挺団の参加について（要請）

令和元年9月12日、北関東防衛局を通じ、陸上自衛隊陸上総隊第1空挺団から、9月14日（土）及び15日（日）に開催される「横田基地日米友好祭」に、第1空挺団が参加し、横田基地所属米空軍機C-130Jから空挺降下の展示を行うとの情報提供がありました。

また、降下展示に向けて、9月12日（木）に降下場地域及び降下場を機上から確認すること及び気象状況によっては米軍による物量投下展示が行われる可能性があることの情報ももたらされました。

横田基地は人口が密集した市街地に所在しており、周辺住民は日頃から、航空機の騒音に悩まされ続けております。近年では、横田基地に隣接する市町のみならず、本市においても、頻繁な低空飛行に不安を訴える市民の声が急増しております。

また、横田基地周辺においては、昨年度、米軍による人員降下訓練中、基地外へのパラシュートの一部の落下や遺失といった事案が発生しており、周辺住民は基地で行われる訓練等についても不安を募らせています。

つきましては、周辺住民の平穏な生活及び安全を確保する視点から、次のことを要請します。

- 1 空挺降下の展示に当たっては、徹底した安全対策を行うこと。
- 2 航空機の曲技飛行とも見てとれる危険な飛行行為を行わないようにするとともに、航空機騒音を最小限に止めるよう努めること。
- 3 横田基地での自衛隊による航空機の飛行展示や訓練が常態化することのないよう努めること。

令和元年9月13日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官
オーティス C. ジョーンズ 大佐 殿

あきる野市長 澤井敏和

